

第 17 回 福岡ゆたか中央病院 地域協議会 議事概要

【日 時】令和 6 年 10 月 3 日 (木) 19:00~20:00

【場 所】JCHO福岡ゆたか中央病院 2 階 大会議室

【議 題】 1. 当院の活動実績報告
2. 協議委員からの意見・要望事項

【出席者】 伊勢 真美子 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監)

山田 真嗣 (直方市消防本部 警防課長) 代理出席

菅原 啓介 (直方鞍手医師会 会長)

輪田 順一 (みずほ内科・レディースクリニック)

梅原 達巳 (直方市役所 健康長寿課 課長)

村山 桂子 (大和青藍高等学校 看護専任科 教務主任)

駒山 博人 (直方市社会福祉協議会 事務局長)

高嶋 正治 (直方市民生委員・児童委員協議会 会長)

井上 千恵子 (くらじの会 会長)

松本 高宏 (福岡ゆたか中央病院 病院長)

中塚 敬輔 (福岡ゆたか中央病院 副院長)

谷山 久枝 (福岡ゆたか中央病院 看護部長)

福田 信也 (福岡ゆたか中央病院 事務長)

海野 聡美 (福岡ゆたか中央病院 事務長補佐)

※敬称略

【概 要】

1. 院長挨拶
2. 委員の紹介
3. 当院の活動実績報告
患者動向、医療機関との連携、地域との連携等について報告。
4. 直方市消防本部より情報提供 山田委員
5. 協議委員からの意見質問・要望事項

(1) 松本院長より

1) 医師の偏在が問題になっており、当院も大きな影響を受けている。医師確保は院長の使命であり、引き続き努力してまいりたい。

2) 救急隊専用のホットラインを開設した。これまでは電話交換を経由していたが、ホットラインの開設によって担当者にダイレクトで繋がるようになった。結果として、救急車の受け入れも増加している。

(2) 協議委員からの意見質問・要望事項

1) 輪田委員より

科別の入院状況はどのような状況か教えてもらいたい。

また、結核患者の〇〇について

→最も多い診療科は外科で、本年度 28.2%で令和 5 年度 29.9%
ついで呼吸器科が本年度 24.9%で令和 5 年度 18.6%、に消化器
内科が本年度 15.9%で令和 5 年度 18.6%となっている。消化器
内科については、常勤医師が前年度 3 名から 2 名へ減となっている
状況。内科については常勤医師 1 名減となっているが、本年度
10.7%で、令和 5 年度 11.6%という状況。

2) 菅原委員より

断らない診療は魅力的なフレーズである。また、時間外診療の拡大に伴って受診者数が増加しているが、スタッフの皆さんが疲弊しないように頑張ってもらいたい。

3) 輪田委員より

退院時カンファレンスを開催してもらおうと良い。

4) 駒山委員より

直方市消防本部のデータによると熱中症による年代別の搬送者は 70 代が一番多かったがその理由が分かるなら教えてもらいたい。

→70 代の熱中症搬送者が一番多い理由として、クーラーをつけない方が多かったり、70 代でまだ活動的であるため、屋外で作業したりする事で、熱中症になる方が多いのではないかと思う。(山田委員)

以上